

愛宕ドルフィンキッズプロジェクト

報告書

「愛宕ドルフィンキッズプロジェクト」は東京都港区に在住・在学・在勤しているご家庭の小学生を対象にオリンピック競泳日本代表ヘッドコーチ、現役オリンピック選手が子どもたちに直接指導を行い、正しいスポーツ教育を学ぶ事業として港区スポーツセンターで開催されました。

11月8日、当日の会場は参加する40名の小学生とその保護者80名、総勢120名が集まりました。

今回のように市民参加型で行政と協力関係の中、日本トップレベルの競泳コーチ選手を招いて事業を行うことのインパクトは大きく、当日の会場には地元の港ローカルテレビ(J・COM)、MXテレビ、NHKなど報道3社が駆けつけその内容を取り上げました。

実際の事業に関して当初、参加した子どもたちは目の前で泳ぐオリンピック選手の迫りに圧倒されていましたが、やがてその目は真剣になりオリンピック選手の指導に必死についていっていました。

終わった後、子どもたちは「日本代表になって世界記録を出したいです」「水泳がもっと好きになりました」などうれしい言葉を寄せてくれました。おかげでメンバーも心地よい疲労感とともに大きな充実感を得ることが出来ました。

今回の事業は大きく分けて二つの意味で収穫がありました。

一つ目は、これまで行うことのなかった公共の施設を貸し切って市民参加型の事業を民間主体で行政と協力して行えたこと。今後のよいモデルケースとなりました。

二つ目は一流のアスリートが直接指導してくれたことで、参加してくれた子どもたちが将来への具体的な目標を口にするようになったことです。地域に生きるロータリーは地域の活性化に目を向けなければなりません、とりわけそれは若者に向けられるべきであるし、次世代の力なくして明るい未来は望むべくもないと思います。

今回、子どもたちがロ々に前向きな言葉を残してくれたのならそれに勝る収穫はないように思えます。

愛宕ロータリークラブは今後も次世代の人材育成に目を向け、地域の活性化に努めてゆこうと思っています。

2015年11月8日(実施)
愛宕ロータリークラブ

